

令和8年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	6,212	9,651	4,820	4,831	△ 13	△ 34
2 千 石	4,346	7,014	3,502	3,512	△ 7	△ 17
3 内 山	6,183	8,434	4,487	3,947	40	68
4 大 和	3,772	6,809	3,396	3,413	△ 13	△ 10
5 上 野	7,570	15,329	7,476	7,853	△ 19	△ 23
6 高 見	7,859	13,777	6,599	7,178	39	75
7 春 岡	7,566	11,424	6,051	5,373	△ 25	△ 37
8 田 代	11,595	22,113	10,566	11,547	8	22
9 東 山	10,427	18,821	9,221	9,600	△ 19	△ 47
10 見 付	4,607	8,360	4,202	4,158	△ 3	10
11 星 ケ 丘	3,613	6,789	3,014	3,775	△ 7	△ 16
12 自 由 ケ 丘	3,547	6,987	3,173	3,814	1	△ 3
13 富 士 見 台	6,460	14,693	6,654	8,039	12	△ 7
14 宮 根	3,851	7,784	3,569	4,215	△ 6	△ 24
15 千 代 田 橋	3,758	7,962	3,706	4,256	4	△ 2
千 種 区 計	91,366	165,947	80,436	85,511	△ 8	△ 45
R7. 3. 1	90,153	165,433	80,218	85,215	△ 94	△ 228
対 前 年 比	1213	514	218	296	86	183
名 古 屋 市	1,196,641	2,338,006	1,147,401	1,190,605	32	△ 1,095
愛 知 県 (R8. 2. 1)	3,416,753	7,447,348	3,708,923	3,738,425	383	△ 2,954

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	78	145	△ 67	970	948	22

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和5年国勢調査結果を基礎とした本市独自の推計値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0.html>

千種区の住宅の建て方、構造、所有の関係

今回は、5年ごとに実施されている住宅土地・統計調査の令和5年調査結果から、住宅の建て方、構造、所有の関係についてみていきます。

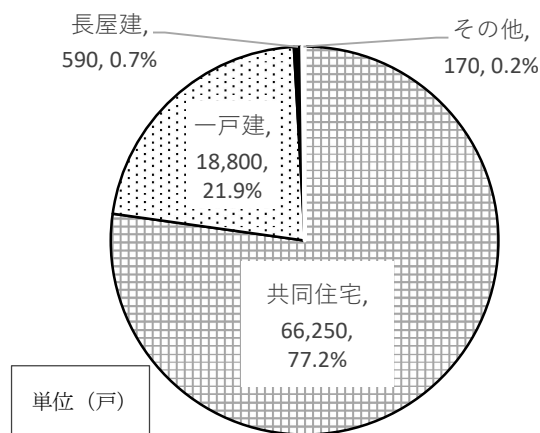


図1 住宅の建て方別

住宅の建て方をみると（図1）、共同住宅は66,250戸で建て方別の約77.2%を占めています。千種区は共同住宅の割合が、中区95.4%、東区85.1%に次いで3番目となっています。一戸建は18,800戸で約21.9%を占めています。一戸建の割合では緑区51.0%、守山区45.4%で千種区は14番目となっています。

名古屋市中心部で共同住宅の割合が高く、市の東部で一戸建の割合が高くなっています。

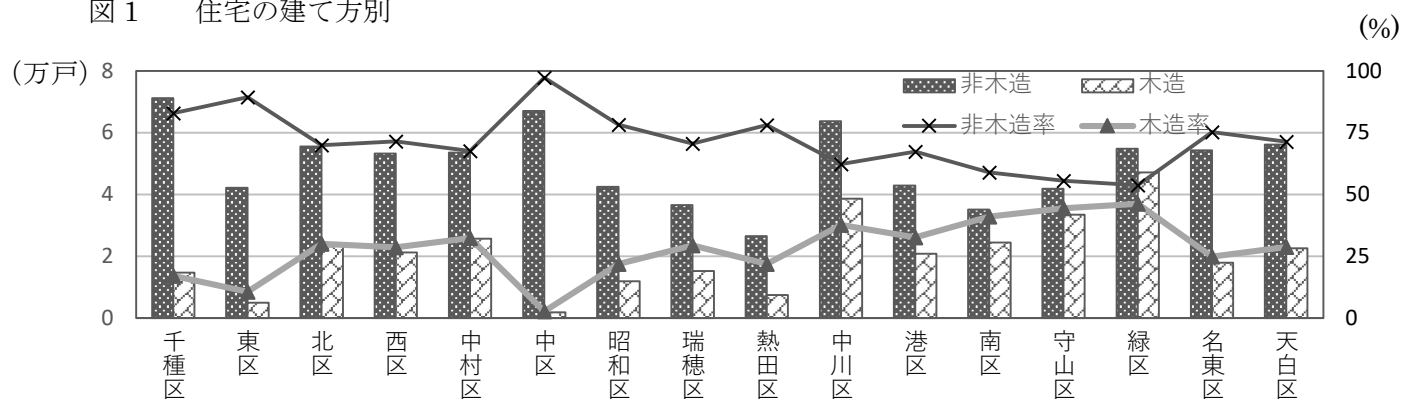


図2 住宅の構造（非木造・木造）

次に構造についてみてみると（図2）、千種区の非木造の住宅数は71,140戸、木造の住宅数は14,680戸です。割合は82.9%と17.1%です。千種区は非木造の住宅数が全区で1番多くなっています。非木造の割合では中区97.3%、東区89.4%に次いで千種区は3番目となっています。

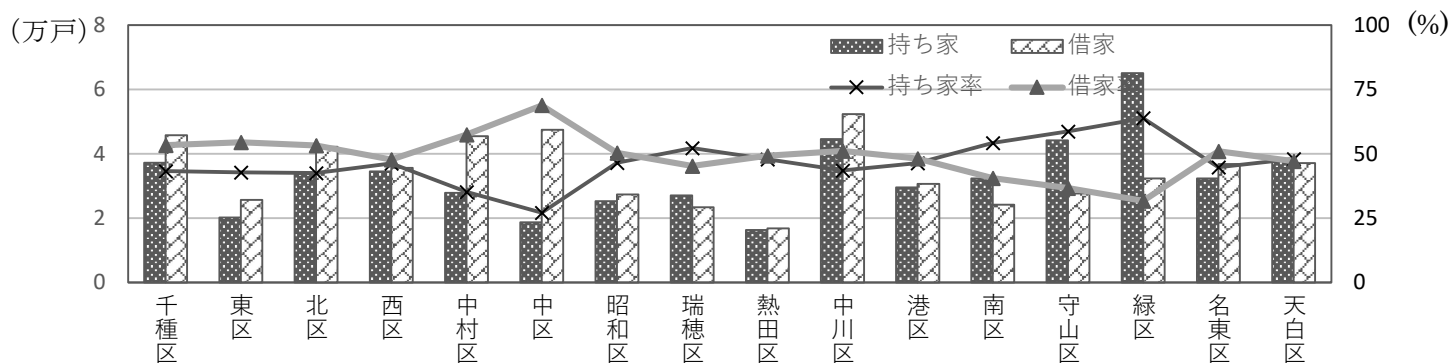


図3 住宅の所有の関係（借家・持ち家）

最後に所有の関係についてみてみると（図3）、借家の住宅数は45,760戸、持ち家の住宅数は37,160戸です。割合は53.3%と43.3%です。千種区は借家の住宅数が、中川区52,280戸、中区47,450戸に次いで3番目となっています。